

第4号議案 2016年度事業計画

(1) 2016年度事業計画

1) 第59回定時総会

- ・2016年6月8日(水) 東京工業大学すずかけホールにて第59回定時総会を開催する。
(ICJ2016I (Imaging Conference JAPAN 2016 (第117回日本画像学会研究討論会))会場)

2) 出版関係

- ①日本画像学会誌：2016年度分6冊を発行する。
 - ・2015年度と同様、全英文論文掲載のクラスタ論文誌を本年度も予定している。
- ②学会50周年記念出版ではなく新規出版として先の4冊に加え、「有機半導体」、「3Dプリンター」の2冊の刊行を計画している。2016年11月のICJ Fall で内1冊を発刊する予定である。

3) Imaging Conference JAPAN 2016 (第117回日本画像学会研究討論会)

- ・ICJ2016 (Imaging Conference JAPAN 2016) を2016年6月8日(水)、9日(木)、10日(金)の3日間、東京工業大学すずかけ台キャンパスすずかけホールにて開催する。
この大会は画像関連学会連合会の共催行事となり、今回は同時期に日本写真学会の年次大会も開催される予定である。

(幹事会社：富士ゼロックス株式会社)

4) Imaging Conference JAPAN 2016 Fall

- ・Imaging Conference JAPAN 2016 Fall (第118回日本画像学会研究討論会) を2016年11月17日(木)、18日(金)に京都工芸繊維大学にて開催する。この大会は昨年、一昨年に引き続き画像関連連合会(*1)としての第3回目の合同大会であり2015年の合同開催を踏まえて、セッション構成、運営等に改革を行い、より多くの参加者を集めるべく企画設定を行う予定である。

(企画・運営：関西委員会)

(*1) 日本印刷学会、画像電子学会、日本写真学会、日本画像学会の4学会で構成

5) シンポジウム (年間2回)

- ・関西シンポジウム：2016年5月13日(金) ハートピア京都にて開催
(企画・運営：関西委員会)
- ・東京シンポジウム：2016年12月2日(金) 発明会館にて開催の予定
(企画・運営：電子写真技術部会)

6) 技術講習会 (年間2回)

- ・第80回技術講習会：2016年6月23日(木)、24日(金) 東京工業大学すずかけ台キャンパスすずかけホールにて開催する。

(企画・運営：事業委員会)

7) フリートーキング “Imaging Today” (年間2回)

- ・学会誌 Imaging Today の執筆者を講師として気軽なトーキングの会を2016年度中に2回程度開催予定。
- ・第29回フリートーキング：2016年7月8日 ・第30回フリートーキング：2017年1月予定
(企画・運営：編集委員会)

8) 技術研究会

- ・技術委員会の部会毎に研究会等を開催予定。現時点での開催予定は次のとおり。

2016年7月6日(印刷会館)：サーマル記録技術研究会

2016年9月30日(発明会館)：インクジェット技術研究会

2016年10月14日(日本印刷会館)：トナー技術研究会

2016年10月21日(日本化学会館)：電子ペーパー・フレキシブル技術研究会

(2016年12月2日(発明会館)：電子写真技術シンポジウム：電子写真技術部会)

9) イメージングカフェ

- ・平日夕方の時間帯で仕事帰りに気軽に立ち寄り最新技術、昔話、他分野情報、専門知識などのテーマで講師からの話を聞き、意見交換ができる交流空間を昨年度に引き続き、ほぼ月1回の割で開催する予定。16年度は東京以外に関西地区での開催を予定。開催要項案は以下の通り。

- ・開催日・時間・会場：

通常企画は、金曜日 18:30～20:20、会場：恵比寿カルフル

スペシャル企画は、15:00～19:50、会場：東京工業大学 大岡山蔵前会館

*開催日時、会場は都合により変更となる場合があります。

- ・参加資格：どなたでもご参加可

- ・参加費(通常企画)：個人会員(維持会員含まず)1,000円、個人会員以外2,000円

(サマー、年末スペシャルは上記参加費とは異なります。別途ご確認ください)

10) 関連学会との交流

- ・画像関連学会連合会発の研究活動として始動した3Dタスクフォースを初めてとして、連合会が進める研究会活動へ積極的に参加協力する。
- ・米国画像学会 IS&T が開催する国際学会 NIP32(2016年9月12日～9月16日、マンチェスター イギリス)に協賛するとともに、この準備会議に本年も協力する。
- ・ICAI 開催を契機として国際交流委員会が中心となり、これに画像関連学会連合会の助力を加えて、中国、韓国、アジアパシフィック地域の画像関連学会とで年次大会等への講師・参加者の相互参加、学会誌への相互の活動状況紹介等によりイメージング材料と技術に関する交流を継続する。

(2) 2016年度学会暦

		2016年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月													
火													
水													
木													
金	1						1		1				
土	2				1		2		2				
日	3				2		3		3				
月	4				3		4		4				
火	5				4		5		5				
水	6				5		6		6				
木	7				6		7		7				
金	8				7		8		8				
土	9				8		9		9				
日	10				9		10		10				
月	11				10		11		11				
火	12				11		12		12				
水	13				12		13		13				
木	14				13		14		14				
金	15				14		15		15				
土	16				15		16		16				
日	17				16		17		17				
月	18				17		18		18				
火	19				18		19		19				
水	20				19		20		20				
木	21				20		21		21				
金	22				21		22		22				
土	23				22		23		23				
日	24				23		24		24				
月	25				24		25		25				
火	26				25		26		26				
水	27				26		27		27				
木	28				27		28		28				
金	29				28		29		29				
土	30				29		30		30				
日	31				30		31		31				
月													
火													
水													

(3) 2016年度予算案

2016年度 日本画像学会収支予算案

2016年4月1日～2017年3月31日

(単位:円)

科 目	2016年度当初予算	2015年度当初予算	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会 費 収 入	20,100,000	21,000,000	-900,000	
正 会 員 会 費 収 入	7,300,000	8,000,000	-700,000	会員減
維 持 会 員 会 費 収 入	12,800,000	13,000,000	-200,000	維持会社数減
事 業 収 入	17,920,000	36,240,000	-18,320,000	
研 究 参 加 費 収 入	9,550,000	4,700,000	4,850,000	ICJ開催により参加費収入増
講 習 会 参 加 費 収 入	4,100,000	3,900,000	200,000	関西講習会開催
試 験 標 準 品 頒 布 収 入	2,400,000	5,000,000	-2,600,000	2015年度実績で策定
予 稿 集 技 術 資 料 頒 布 収 入	200,000	200,000	0	例年通りで策定
版 物 頒 布 収 入	50,000	250,000	-200,000	記念本の売り上げ減
会 誌 購 読 B N 頒 布 収 入	900,000	1,100,000	-200,000	2015年度実績で策定
広 告 収 入	700,000	700,000	0	2015年度実績で策定
雑 収 入	20,000	20,000	0	昨年同様
国 際 会 議 関 係 収 入	0	20,370,000	-20,370,000	国際会議開催無し
受 取 利 息 収 入	20,000	20,000	0	
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	0	0	
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	0	0	
事業活動収入計	38,040,000	57,260,000	-19,220,000	
2. 事業活動支出				
事 業 誌 発 行 費	26,810,000	41,300,000	-14,490,000	
研 究 会 開 催 費	9,700,000	9,000,000	700,000	会誌ページ数増を見込む
講 習 会 開 催 費	7,510,000	3,700,000	3,810,000	年次大会通常開催及び国際文献社費用増にて増額
試 験 標 準 品 開 催 費	2,200,000	2,400,000	-200,000	関西講習会の新規開催含む
出 版 物 作 製 費	1,200,000	3,000,000	-1,800,000	2015年度並み
学 術 賞 費	500,000	650,000	-150,000	費用圧縮
諸 事 務 員 賞 費	900,000	950,000	-50,000	2015年度並み
理 事 委 員 会 費	500,000	650,000	-150,000	2015年度実績
国 際 評 議 員 会 費	2,100,000	2,000,000	100,000	2015年度よりややアップ
管 理 費	1,700,000	1,700,000	0	2015年度並み
通 信 運 務 費	500,000	17,250,000	-16,750,000	国際会議準備費用
事 務 機 械 費	12,910,000	13,510,000	-600,000	
租 税 課 費	400,000	500,000	-100,000	2015年度実績
退 職 給 付 費	2,200,000	1,850,000	350,000	2015年度実績
法 人 税 等 支 出	9,550,000	10,300,000	-750,000	給与見直しにて減
そ の 他 の 事 業 活 動 支 出	200,000	300,000	-100,000	費用圧縮
事業活動支出計	39,870,000	55,010,000	-15,140,000	
事業活動収支差額	-1,830,000	2,250,000	-4,080,000	試験標準品販売減の寄与が大きく、赤字
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特 定 資 産 取 得 支 出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①他会計振替支出	500,000	500,000	0	国際会議準備基金としての積み立て
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	-500,000	-500,000	0	
当期収支差額	-1,830,000	2,250,000	-4,080,000	
前期繰越収支差額	17,617,603	14,657,454	2,960,149	
次期繰越収支差額	15,787,603	15,907,454	-119,851	

(4) 日本画像学会 体制図

